

テーマ：『 身近な自然との関わりを通して、豊かな感性を育てる環境教育 』

横浜市立 白幡小学校

Tel. 045-401-4779

担当者：

和泉 良雄



■実践内容:

横浜市立白幡小学校では、児童会に「水族館委員会」や「飼育委員会」「栽培委員会」などの活動があり、日常的に生き物に親しむようにしている。水族館委員会では、大型の水槽の魚の世話を当番で行い、低学年の児童にも人気のコーナーを作っている。飼育委員会では、ウコッケイやニワトリを飼育し児童とのふれあいの場を提供している。栽培委員会では、地域の方や PTA の環境委員会の方々と協力し花壇の整備に努力し、花のあふれる心休まる環境を作り出している。

高学年では、新潟の体験学習に関連して、バケツ稲の栽培にチャレンジしたり、田植え体験をしたりしている。中学年では PTA の支援の下、学校の樹木に樹札を取り付ける活動に取り組んだ。低学年の学習では、横浜市環境事業局の協力の下「どんぐり博士」の取組を続け、どんぐりを発芽させ苗を育て大きな森を作ろうという取組をしている。

■実践成果:

児童委員会を中心に、多くの活動を行うことで、身近な自然環境にかかわり、観察・体験することを通し自然を大切にす豊かな感性を養うことができた。また、保護者・地域の方との交流の場面が増えたことも大きな成果といえる。

■実践ポイント:

地域本部を設立し、地域力を積極的に活用する中で、児童と地域が一体となった活動を組めた。校内の湧き水に沢蟹が生息していることが分かり、ビオトープへの意欲が大きく膨らみ、具体的な計画に発展してきた。